

102

今までの100年、これからの200年。
私たちが想像する未来。

わたしたちの街を、
わたしたちの手で
創造していく。



創造力で明日をつくる

 **Hiamaya**

困難なら、 DESIRE TO CHALLENGE 挑戦できる。

困難な工事でも、前向きに挑戦する。
完成した時の特別な喜び。

チームで挑む難工事。時代に合わせて、仕事のやり方や顧客の要求事項も変化します。弊社はICTを活用した工事にも積極的に挑戦し、時代に合った高品質な社会資本整備を叶えています。
数多くの難工事の施工実績。これらの業績は数々の表彰をいただき高く評価されています。



砂防堰堤工事



押上低水護岸工事



滝向沢砂防堰堤工事



生まれ育ったこの街を、私が災害から守るんだ。

昨日までガタついていた通勤路、
今日からは私が快適な道に変えてやる。

インフラを支える。 INFRASTRUCTURE 守る、創る。



高瀬舗装工事



函橋工事



片岡駅西口・広場整備工事

ヒト、モノ、クルマ。
物資の流通と生活を支える
道路。暮らしのために、
整備された道路が必ず必要です。

安全な道路をつくるため、私たちは日々努力を重ねています。
はたして安全な道路とはどんな道路でしょう。
緊急車両、人、流通、あたり前に行き交うことができ、
スムーズな交通を叶える。そのために、
私たちの沢山の技術がこもっています。

舗装工事 新築／改築／維持／修繕

未来に続く、
まちづくり。

私が作った建物が、
街の人気スポットになった。



栃木県立宇都宮工業高等学校



鉄みのり花木センターインターパーク店



御料牧場・迎賓館



ウェルフルなかがわ - 外観

足場を解体すると、苦労した仕事の結果が形になって見えてくる。
その結果が未来の景色となる。

建築事業で扱う施設の用途は様々です。

学校、病院、商業施設、工場、オフィスやライフル射撃場なんでものもの。

初めての仕事には困難がつきもの。でも、チームで挑めば大丈夫。

足場を解体し、新たな未来が誕生する瞬間の感動をぜひ味わって頂きたいです。



内観

今日もみんながこっちを見ている、
リビングの小窓にこだわって良かった。
ただいま。

理想の暮らし、
安心安全の家づくり。



高耐震の安心の家。
家族みんなの理想が詰まった快適で安全な暮らしを実現する。

住宅事業で扱う施設は戸建住宅や店舗兼住宅など。浜屋組の1部門として住宅事業を手がけています。

家族みんなが満足できる家づくり、みんなに自慢できる家づくり、そしてもちろん安心安全な家づくり。規模は違えど目指す理想は同じです。

インテリア

エクステリア



道路の主要材料であるアスファルト合材。
いつもの道も我々の仕事が支えます。



生コンクリート工場



製造管理



品質管理試験



運搬の様子

道路をつくる、
その材料もつくる。

合材事業で製造販売を手がけるアスファルト合材は道路の主要材料です。
社会基盤整備に欠かすことのできない合材の品質管理を担うということは、地域経済と社会の発展を担うということに他なりません。その思想は生コンクリートも同様です。
高品質で当たり前と思われる製造販売事業も支えているのは、技術者である「人」なのです。

M A T E R I A L

「品質が良いね」
プロに褒められるとやっぱりうれしい。



縁の下から支える力に。

私たち営業・総務部門の業務は、技術部門のように
仕事の成果が建造物となって目に見えることはありません。
私たちの業務は、会社の頭脳そして心臓となり、
浜屋組を支えることです。

営業部（頭脳）

情報収集力、分析力、
そして何よりコミュニケーション力。

会社の売上を左右する最重要ポジション。
商品を売るのではなく、品質・技術力を商品として受注活動
（見積・入札）のために施工実績や技術力の資料を作成、
お客様から依頼の工事を各部と調整、打合せを行います。
受注後は、お客様と契約の打ち合わせを担当し、現場社員
とお客様とのパイプ役にもなります。
情報収集、分析のスキルはもちろん、お客様から信用・信頼
を得るためのコミュニケーションスキルは最も重要です。



総務部（心臓）

社内の調整役。社員のサポートから運営に
関わる業務まで幅広く。

社員が自分の仕事に集中出来る様にバックアップやサポート
をしています。会社運営を円滑に行えるように、会社に必要
な法的な対応や会社の福利厚生に関すること、社内イベント
企画から実施までとりまとめ、社員にゆとりと安らぎという
栄養を与えられる様、会社全体の幅広い業務を担当します。



相談があるんだけど、、、
やれやれ また一肌脱ぎますか。

STAFF INTERVIEW

2019年入社／第2土木部

法学部法律学科出身

**真面目過ぎず、ひとつひとつ丁寧に。
積み重ねていくことが大切な仕事。**

Q1 今、どんな仕事をしていますか？

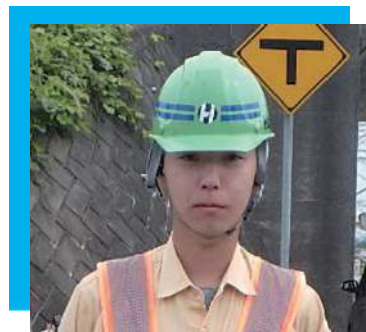
国道4号（宇都宮市～那須町）の道路維持管理を行っています。本現場では季節により仕事内容が変わります。春は歩行者の方や一般車両の皆様が通行しやすいように除草剤の散布、夏は傷んだ道路により起こる交通事故を防ぐための路面補修、秋は除草剤によって枯れた草の除草と冬季の除雪に向けての準備、そして冬は降雪により道路に積もった雪を除雪車両で排雪し、道路が凍結しないよう、凍結防止剤の散布を日々行っております。大変かつ、気の抜けない仕事ではありますが、地域の皆様一人一人が安全に通行できるよう、日々まい進しています。

Q2 浜屋組を受ける学生へのメッセージ

建設業界は仕事・人間関係が厳しいイメージを持っていましたが、実際に働いてみたら全くそんなことはなく、先輩方は自分が理解できるまで丁寧に仕事を教えてくれ、相談にものってくれます。入社直後は私自身、真面目過ぎ・気負い過ぎなどところがありました。今では同僚や先輩方のお陰で、地に足をつけて一つずつ仕事を覚えてこれたと感じています。一緒に仕事ができる日を浜屋組社員一同楽しみに待っています。



趣味は釣り。釣り堀でニジマスを釣りあげました



2019



2014年入社／建築部

建築都市環境学科出身

**地元で家族と暮らしたい。
新卒で栃木に戻り、希望だった施工管理職に。**

Q1 浜屋組に就職した理由

地元で働きたいと思い、栃木県内での建築業で探していました。建築の施工管理を希望していたため、浜屋組の募集と合致しました。

Q2 今、どんな仕事をしていますか

住宅の現場管理をしています。去年までは、建築現場の施工管理をしていました。

Q2 浜屋組を受ける学生へのメッセージ

とても働きやすい環境だと思います。休日が多く家族との時間も十分にとれ、友人や同僚とのゴルフも家族に気兼ねなく行くことができます。福利厚生もしっかりしています。

休日は家族で。

ときどき友人や同僚とゴルフ

2021年入社 / 第1土木部

法学部法学科出身

休日制度と職場環境の良さが、 仕事とサッカーの両立を叶えてくれる。

Q1 浜屋組に就職した理由

県外の大学に通いながら、矢板市にあるサッカーチームで活動していく中で、慣れ親しんだ場所で地域貢献したいと考えようになりました。建設業に興味があり県内で数多く施工実績がある浜屋組で自分も建設を通して人々の安心・安全に携わりたいと思ったからです。

Q2 今、どんな仕事をしていますか

栃木県日光市にある大谷川流域の河川工事で現場監督として、協力業者の方と現場打合せをして作業内容等の工程管理を行っています。また現場内において建設資材等の品質管理や作業する上での安全対策、第三者への危険が及ばない様安全看板設置を行い、安全意識の向上を図っています。職人の方と協力し完成した構造物は、目に見える形として残り完成後には共に達成感を実感出来る為とてもやりがいのある仕事だと思います。

Q3 浜屋組を受ける学生へのメッセージ

会社全体の雰囲気も良く、先輩方も優しく丁寧に指導してくれるので「沈・限・最」が無く、楽しみながら仕事をする事が出来ます。また、会社全体で週休2日制を導入しており、プライベートの時間も多く仕事との両立も充実して過ごす事が出来ています。幼少期からサッカーをしていて、今でも社会人チームでサッカーをしています。他に大型連休もあり、旅行も趣味です。



サッカー社会人チームに所属しています



2021



休日はゲームかドライブ

2020年入社 / 第2土木部

建設工学科出身

父の影響で私も建設業に。 大変ですが、やりがいを感じています。

Q1 浜屋組に入社したきっかけは何ですか？

私の父が重機オペレーターをしていることもあり、建設業に興味がありました。高校の会社説明会や父の話を聞き、地元で幅広く仕事をしていると知り浜屋組に入社したいと思いました

Q2 入社1~2年目は働いてみてどうでしたか？

入社1年目に電線共同溝、2年目に歩道橋の下部工事を担当しました。高校は建設科を卒業しているので、学校で勉強してきたから大丈夫と思っていましたがそんなことはありません。学校で習うことはほんの一部であり、ほとんどが初めて経験することはばかりでした。右も左もわからない中、最初は先輩の指示通りに仕事をこなすことで精一杯でしたが、だんだんと工事全体の流れを把握して自分の考えをもって仕事に取組むことが出来るようになりました。わからないことを先輩に聞くのも大切ですが、自分で考えて行動することも大切だと学びました。大変なこともあります但其のやりがいのある仕事だと思います。

創造力で明日をつくる

株式会社 浜屋組

わたしたち浜屋組は、安全・環境への配慮と、技術に裏打ちされた確かな品質の提供を通じ、顧客、取引先、従業員ならびに地域社会にとって魅力ある企業を目指しております。

主な受賞歴

- 国土交通省優良工事局長表彰
- 国土交通省優秀技術者局長表彰
- 国土交通省優良工事事務所長表彰
- 国土交通省難工事功勞事務所長表彰
- 国土交通省建設業担い手の確保及び育成貢献工事表彰
- 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表優秀論文受賞
- 栃木県知事優良工事表彰
- 栃木県知事優秀技術者表彰
- 栃木県知事優良建設工事技術者表彰
- マロニエ建築優良賞
- マロニエ建築奨励賞

浜屋組の技術

1人1人が、信頼される技術者へ

一級建築士	2名	一級機械施工管理技士	1名
二級建築士	9名	二級機械施工管理技士	7名
一級建築施工管理技士	21名	舗装診断士	1名
二級建築施工管理技士	5名	一級舗装施工管理技士	13名
一級土木施工管理技士	48名	二級舗装施工管理技士	8名
二級土木施工管理技士	16名	コンクリート技士	5名
一級管工事施工管理技士	2名	建設業経理士	7名
二級管工事施工管理技士	2名	宅地建物取引士	4名
一級造園施工管理技士	5名	第一種衛生管理者	3名
二級造園施工管理技士	2名		

主な取引先

国土交通省・栃木県・栃木県内市町などの公共事業・民間事業
民間事業者からの受注・依頼対応

ABOUT

商号	株式会社 浜屋組
設立	1921年（大正10年）
資本金	4,140万円
従業員	172人（うち女性9名／2023年6月現在）
事業内容	各種建築工事、土木一式工事、舗装工事、上下水道工事、造園植栽工事、管工事、合材・生コンクリートの製造販売、産業廃棄物収集運搬業・処分業、二級建築士事務所、戸建住宅、宅地分譲、宅地植栽（ガーデニング）及び前各項目に付帯する一切の業務
許可番号	建設業 栃木県知事（特-3）第1769号 二級建築士事務所 栃木県知事Bロ第4430号 宅地建物取引業 栃木県知事（4）第4481号 産業廃棄物収集運搬業 栃木県知事 00900045828 産業廃棄物処分業 栃木県知事 00920045828

HISTORY

1921年	栃木県矢板市に創立
1946年	（資）浜屋組に変更
1963年	株式会社浜屋組に組織変更
1970年	栃木県矢板市に生コンクリート工場新築
1971年	栃木県矢板市にアスファルト合材工場新築
1990年	同地に社屋を4階建に新築
2001年	岩見高士代表取締役就任
2004年	宇都宮営業所設立
2005年	宅地建物業及びハウジング部設立



本社
栃木県矢板市本町12-6



宇都宮営業所
栃木県宇都宮市昭和1-2-20



生コンクリート工場
栃木県矢板市片岡1868



アスファルト合材工場
栃木県矢板市針生365

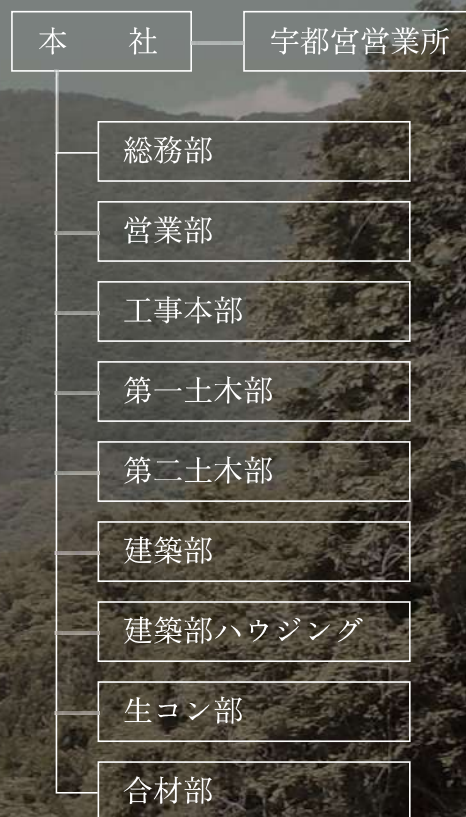


今までの100年、
これからの200年。
私たちが想像する未来。

わたしたちの街を
わたしたちの手で
創造していく。

次の200年を
あなたと共に挑戦したい。

組織図



建設業界に興味がある方へ

就職活動で建設業界に興味を持っている方なら知っていてほしい、
建設業の営業エリアと規模の話

ゼネコンって何だ？

私たち浜屋組は総合建設業者です。総合建設業者とは「ゼネコン」という言葉で表現されますが、
土木や建築に関する工事を発注者から一式で請負い、工事全体のQCDSSE^{*}を総合的にマネジメント
する仕事です。*QCDSSE：Q（品質）、C（コスト）、D（工程）、S（安全）、E（環境）



地場ゼネコンとは

地場ゼネコンとは地方の一式工事に特化したゼネコンで、浜屋組は地場ゼネコンです。全国各地の国家プロジェクトとは違い皆さまになじみのある地元企業様の営業拠点や街を守る砂防ダム、県内の重要インフラである国道4号の維持管理等地域に根差した建設事業を行っております。

浜屋組って何だ？

弊社は1921年の創業依頼、一貫して地域経済・防災に寄与すべく様々な建設事業に取り組んで参りました。各種表彰等により対外的にも評価を頂いております。売上高・経営内容に関しても栃木県を代表する企業の1社です。

就職活動は人生設計のはじまり。～10年後の未来を考える～

仕事に夢と誇り、やりがいを持てるか。

それももちろん大切ですが、どこに住み、どんな暮らしをしたいか。これも大切。

地場ゼネコンである弊社は、栃木県に商圏を設定し、身近なインフラや公共施設・建築を創る、いわば「街づくり」の会社です。わたしたちの街を、わたしたちの手で、創造していくことができる企業です。

経営事項審査



株式会社 浜屋組
www.hamayagumi.co.jp



〒329-2164
栃木県矢板市本町12番6号
tel. 0287-43-1181 (代) fax. 0287-43-1184
1921年創業。浜屋組は今年で102年。